



海外生活 レポート 58



なかた よしみ 右端が中田好美さん
中田 好美さん
石川県金沢市出身。東南アジアで長らくNGO活動
をしていたが、心機一転アフリカへ進出。リベリアが
アフリカでは初めての駐在国。趣味：パードウォッチ
ング、消しゴムハンコ制作、料理。

リベリア共和国



アメリカで解放された奴隷^(注1)がリベリアに渡った
時に乗っていたエリザベス号の復元模型。



ロバーツ初代大統領

リベリアの食事



キャッサバの葉のシチューとご
飯。シチューはこてこて油の
ねっとり系。

リベリア人の主食は米です。「ご飯を食べる」とは文字通り米を食べることで、米飯でないにご飯を食べたとは言えないそうです。山盛りのご飯に、キャッサバの葉と肉・魚をパームオイルであわせて煮込んだシチューをかけて食べるのが、日常的な食事です。肉や魚の出汁がシチューにコクを与え、とても美味しいです。しかし、国内で栽培される野菜の種類が少なく、メニューも数えるほどしかありません。リベリア人は定番料理が大好きですが、私はいろいろな食材を食べたいので、現地の市場より輸入食材を扱うスーパーマーケットで買い物をしています。農林水産業、製造業、流通業が十分に発達しておらず、多くの食品・日用品の供給を輸入に頼っている現状です。それなのに、輸入される生鮮食品は新鮮ではなく(すでに腐っているものも)種類も限られます。それが在住者のよくある悩みでもあります。

私の仕事

私の業務の一つとして、JICAの支援事業が円滑に進むように行政機関や他の援助機関と調整を行い、政策等の情報収集を行うことがあります。途上国ではよくあることですが、政府高官との距離が近く、直接話す機会もあります。ご意見を伺い、情報をいただくと同時に、常にJICAの人づくりを重視する援助の考え方をアピールしています。2003年の和平合署名後、外国からの多額の支援が入り、それ以来、開発は資金援助がないとできないとの思い込みが根強くあります。インフラ開発のように資金が必要なのところもありますが、持続的に保健医療・教育制度を運営していくには、現地の人々が適切な知識にのっとり、遂行する開発計画が必要です。受け身の姿勢からの転換をどのように進めるかが難しいところ
です。

母子に対する栄養教育のための食品サンプル。市場でよく見る食材。



リベリア人はどんな人たち?

残酷な紛争の記憶が未だに尾を引く中で、リベリアで出会う人々の素朴な人の好さは心とむ点です。パレードのような職場のイベントであっても、集まると自然に歌って踊り出す陽気さがあります。人々のコミュニティーとしての一体感を感じる瞬間です。



NPO法人^(注2)が村の新たな収入のために始めた養蜂を見学。(左端は中田さん)

昨年の大統領選挙で、現職大統領が対立候補に僅差で敗れた時は一瞬緊張が走ったものの現職があっさりと敗北宣言したため、緊張は速やかに解かれました。キャンペーン合戦は熾烈であったにも関わらず、政権移譲は滞りなく行われ、民衆は平和を何よりも望んでいることが伝わってきました。新政権にも汚職撲滅、予算不足による政府機能不全への対策、戦争犯罪者を裁く法廷の開設など、取り組むべき課題は多々ありますが、平和を望むスピリットを保ちながら、少しずつでも民主的な開発への取り組みが進むことを願っています。

(注1) アフリカ系アメリカ人の移民。彼らによる侵略で建国された側面もあり、後に民族紛争へ発展する深い傷となった。

(注2) 「特定非営利活動法人ダイヤモンド・フォー・ピース」は小規模ダイヤモンド採掘を生業とする村で、生活上とダイヤモンドのフェアトレードに取り組んでいる。筆者が個人的に支援している団体。

(コーディネーター: 編集ボランティア 安藤節子)

INFORMATION



	リベリア共和国
面積 111,370km ²	首都 モンロビア
人口 530万人	公用語 英語

ジョシュア・ンフォンボン・テミトペ(Joshua Mfonobong Temitope)さんは、2023年にバスケットボール女子日本リーグ(Wリーグ)で優勝した富士通レッドウェーブの選手です。中学生の時にナイジェリアでスカウトされて、来日8年目を迎えるテミ(コートネーム)にインタビューしてきました。



ナイジェリア連邦共和国

面積 923,773km²
人口 2億2,380万人
首都 アブジャ
民族 ハウサ、ヨルバ、イボ等
公用語 英語

Q1 川崎はどうですか？

とても住みやすいです。練習場所の近くの武蔵中原や武蔵小杉には、おいしいお店がたくさんありますね。ベトナム料理屋さんへ行って、お気に入りのバインミーやフォーを食べるのがとても楽しみです。

Q2 ナイジェリアと日本、何か違いを感じますか？

年上の人を敬って、会釈をしたり、「～さん」と丁寧な言葉で声をかけるのはナイジェリアも同じで、弟も私を「シスタートペ」と呼びます。

違うところは、ナイジェリアは公用語の英語以外にもたくさんの部族の言語があって、複数の言語を話せる人が多いことです。

日本のいいところは、4つの季節があることです。ナイジェリアは乾季と雨季の2つです。夏の暑さは一緒かな。冬の日本は「めっちゃ寒いけど、ナイジェリアは「少し」寒いです(笑)。試合でいろいろなところへ行きますが、北海道が大好きです。寒いですが雪がきれいだし、風景がとても美しい！料理もとてもおいしい！



Q3 バスケットボールを始めたきっかけは？

9歳からバスケットボールを始めました。きっかけは、友達のお姉さんがやっているのを見て「かっこいい！」と思ったことです。お願いしてボールに触らせてもらって「何かいい！」と感動しました。

中学生の時、日本人にリクルートされました。その時、「いろいろなことに挑戦したい」「海外へ行きたい」という思いで、高知県の高校に留学しました。関東の大学を卒業後、2023年からは富士通レッ



ドウェーブの選手として頑張る毎日です。

昨年の10月にけがをしましたが、チームメイトやファンからの励ましを力に変えて、頑張ることができました。「(スポーツ選手は)けがをするのはしょうがない」と考えています。けがを予防するために、今後、どんな練習をしていけばよいか、何が必要かをトレーナーに相談して、ピンチを乗り越えられるように心がけています。

Q4 もしバスケットボール選手になっていなかったら？

小さい時は医者になりたかったんです。今、モデルもやってみたいかな。共通しているのは「世界へ出て、いろんなことをやってみたい！」という夢に挑戦する気持ちです。小学生にバスケットボールを教えて、交流する機会がありますが、子どもたちにはスポーツそのものにも興味をもってほしいです。けがを恐れずにチャレンジすることや、夢を持つことのすばらしさを伝えたいと思っています。



最後に、テミから皆さんへ

昨年はWリーグで優勝することができました。今年は二部制となり、Wリーグプレミアでの激しい戦いが続いています。ぜひ私のプレーを、また、チームのがんばる姿を見てほしい、応援してほしいです！

ナイジェリア料理もお勧めです。私が故郷へ帰りたいなあと思うのは、特にアマラ(AMALA)^(注)が食べたい時ですね。お餅のようでとてもおいしいです。ぜひ挑戦してみてください！

(注) ヤム芋粉やキャッサバ粉に熱湯を加えて練ったもの

正一 編集ボランティアより

インタビューを終えて外に出ると、周りの富士通の敷地でビルの建て替え工事をしていました。富士通レッドウェーブの新たな金字塔も建つことを願い、駅へと向かいました。